

氏名 山 本 浩 史

学位(専攻分野) 博 士(医 学)

学位授与番号 博 乙 第 2399 号

学位授与の日付 平成 4 年 3 月 28 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目 肝再生に及ぼすCyclosporin Aの影響

論文審査委員 教授 辻 孝夫 教授 寺本 滋 教授 難波 正義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

IL-2によって誘導されるlymphokine activated killer cell (LAK細胞)は70%肝部分切除後の同系C₃Hマウスに移入することにより肝再生を抑制する働きを示す。そこでIL-2産生を阻害するCyclosporin A (CsA)を肝部分切除前のマウスに投与してBrdUを用いた肝実質細胞のLabeling Index (L.I.)を指標に肝再生を検討した。その結果肝部分切除後36時間における肝細胞の増殖はCsA投与によって5 mg/kgで最強の増殖促進効果を認めた。肝切除前後において10mg/kgを3日間連続投与を行うと更に強い増殖促進効果を認め、またこの条件において肝切除後48時間, 60時間で肝重量の有意の増加がみられた。以上の結果よりCyclosporin Aは肝切除後の肝再生に対し促進効果を有するものと考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、C₃Hマウスを用いた70%肝切除後の肝再生に及ぼすCyclosporin A (CsA)の影響をみたものである。その結果、BrdUを用いた肝実質細胞内への取り込み実験から、CsA投与では5 mg/kgで最強の増殖促進効果、逆に言えば、肝切除後出現するIL-2による肝細胞増殖抑制因子の制御が可能であるとの極めて興味ある知見を得ている。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。